

宇都宮スマートシティモデル推進計画（宇都宮市）

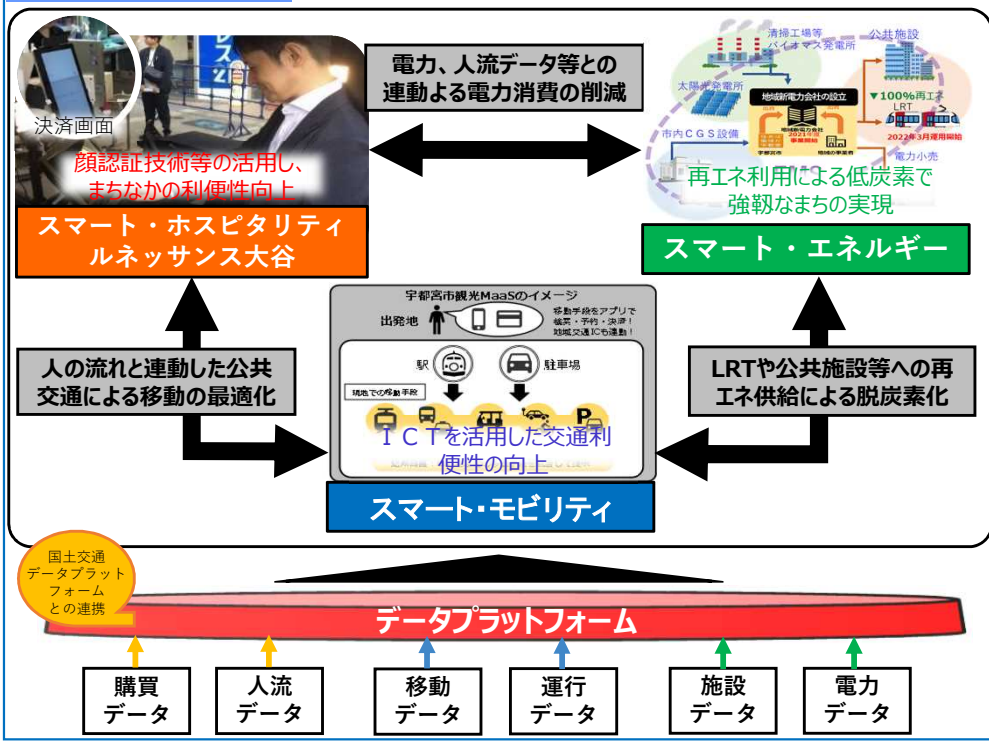
国内初の全線新設軌道のLRTを軸に「モビリティ（AI運行等）×ホスピタリティ（生体認証等）×エネルギー（地域新電力等）」などを通じて、だれもが自由に移動でき、便利で楽しく過ごせる、グリーンなまち『地域共生型スマートシティ※』を実現。

※ICT（情報通信技術）が人やモノの活動をサポートし、様々な分野における市民の身近な暮らしの利便性向上や活力あるまちの形成を図ります。

目標

観光客の平均滞在時間 4.3時間（現状）→5時間（2022年度）
 大谷地域の年間入込観光客数 77万人/年（現状）→93万人/人（2022年度）
 公共交通利用者数【現状】3,351万人/年（現状）→3,500万人/年（2022年度）
 再エネの地産地消によるCO₂削減量 0（現状）→7,800t-CO₂/年（2022年度）

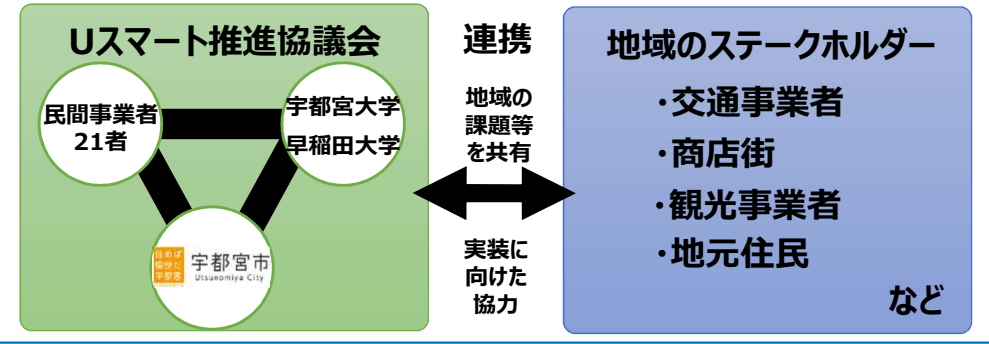
取組概要



将来像



体制



スケジュール

